

# 四季の路から



地域福祉だより(通巻 145号)  
令和 4 年 3 月 31 日発行  
森の里地区  
地域福祉推進委員会

地域福祉推進委員会 HP <http://morinosato-tiikifukushi.com/>

## 梅見会 短歌・俳句表彰式

梅見会がコロナの影響で今年も開催出来ませんでしたが、短歌・俳句に沢山のご応募がありました。

【短歌】 中学生の部 五七首 一般の部 一二首

【俳句】 小学生の部 三七句 一般の部 二五句

その中から審査会で選定された入選作の表彰式が 3 月 6 日(日)10 時から行われました。

### 短歌 中学生の部

梅の花咲き舞い散れば春の風  
ほら町は今桃色染まる  
森中二年 \*\*\*\*

みあげればつぼみふくらむつうがくる  
大きかった制服なじむ  
森中二年 \*\*\*\*

春風にふわりと香る梅の花  
穏やかに咲く希望の光  
森中二年 \*\*\*\*

### 短歌 一般の部

願わくばこの先十年気心の  
知れた仲間梅見がしたい  
二丁目 \*\*\*\*

春の陽に幾多の齢重ねたり  
父の背のぬくもりもなつかしき  
二丁目 \*\*\*\*

負った子に教えられたる梅二輪  
飛石またぎしばしたたずむ  
三丁目 \*\*\*\*

### 俳句 小学生の部

春まだきあわてんぼうの梅一輪  
森小六年 \*\*\*\*

泥雪のたるまかたむく春日和  
森小六年 \*\*\*\*

### 俳句 一般の部

車いす梅花終焉母笑顔  
二丁目 \*\*\*\*

老梅も 初孫願い咲き競ふ  
三丁目 \*\*\*\*

梅香り卒寿のほほをそつとなで  
三丁目 \*\*\*\*



今年度の梅見会俳句短歌の応募には、森の里の一般の方とともに森の里小中学校の児童・生徒も加りました。日々の生活や家族への思いなどを梅林と重ねあわせた句に、森の里の歴史がまた一ページ刻まれたと思います。

公民館 地区館長 \*\*\*\*



ここからは、入選作品を除いた応募作品を原文のままご紹介いたします。

### 短歌 一般の部

寒空に梅のつぼみがふくらんで  
春待ちどおし吾が心根よ

春が来る春が来る来る春が来る  
春来たりして梅の花見ゆ

壬寅ぞオミクロン禍を過に変えて  
平穏招く梅見とせばや

落葉わけ中より芽吹く春蘭に  
木漏れ日とどけと檜の枝を折る

梅の香に誘われ集う生きし物  
目覚めし時をいつぞ知らずや

冬晴れにもえる紅色梅の花  
優しい笑みは春への一步

寒き朝ちいさき蝶が紅白の  
彩をまといて春を奏でる

制服がすこし小さくなった  
花びら舞う旅立ちの朝

窓明けて春の陽射しを受けし朝  
昨日とおなじことの幸せ

### 俳句 一般の部

旦に紅梅の花凜と咲く  
梅林一本ごとに名前あり

梅の花世話した人をなつかしむ  
退院日心洗わる梅香り

梅咲きてメジロ飛びかう春来たり  
風やんで鏡のごとく春の海

梅枝さきに春の兆しや雲一つ  
青空に梅ひろがりて深呼吸

老粗淡これぞ味なり梅の花  
こな雪のまいちる庭に梅のはな

梅咲きてコロナ去りゆく日のひかり  
初日の出丘から祈りコロナ滅亡を

青空に映える白梅清し  
朝光に浮かぶ梅花の匂う里

飛ぶ景色春はそこまで五能線  
案山子やなはだら雪踏む子らの影

終バスをのがして香る梅の夜  
しきのみちうめのかおりでほえんだ

吉報が紅白梅の同時咲き  
戒名の梅香の文字に思い馳せ

禍の向こうに白く梅ひかる  
春が来た外に出ようネ人の輪に

### 短歌 中学生の部

春風に梅の木そつとゆれている  
僕的心も満開になる

春が来て花咲き誇り暖かく  
あたり一面緑がふえる

クリスマス実質ただの平日だ  
家族のみでのシングルベール

春の朝梅の香りが少しずつ  
春を感じる梅の香り

梅の花香り漂う鳴くウグイス  
五感で感じる森の里の春

梅と桜花弁高く宙に舞う  
東風匂わせる春のおとずれ



桜降る梅を見ながらお花見を  
家族と一緒に楽しみ合おう  
目あけるとしかい広がる梅の花  
春風にのるほのかな香り  
美しいサクラのようなその姿  
さまざまな色心を溶かす  
梅の花コンクリートへこぼれてく  
あたり一面薄紅梅に  
春の梅白梅紅梅盛大に  
春風爽快四季のうるおい  
春になり梅がにっこりさいている  
僕もにっこり笑っている  
春の色おちついていても好き  
梅のピンクと芽吹くきみどり  
春一番ある木の枝が揺れ動き  
桜が告げる春がきたぞと  
薄紅に春の訪れ知らされて  
華やかな君弾むころ  
もう春だ梅咲きほこる華やかさ  
季節感じる清き花びら  
雪が降り雪があふれてふり積もる  
雪が降るたび心やすらぐ  
冬終わり道の端には花一つ  
春風ふいて花がゆれてる  
春風にたなびく梅の花にまう  
桜に負けず春をいろどる  
春浅し梅園早朝腰下ろす  
今年の新米花の兄貴よ  
ふるさととおいスイランカウめがさ  
きさくらながめてぼくの日本  
今日宴食つては騒ぎ花より団子  
空を揚げばサクラの並木  
早春の風物である梅の花  
かおりの高い紅色の花  
帰り際ふと顔を上げ見る空は  
山に隠れるせつなの瞬き

雨上がり空を見上げて深呼吸  
虹の向こうへさあ出発だ  
春が明け暖かくなりうるわしい  
上品にさく梅の花々  
梅の花ゆらりゆらりと春風に  
揺らされるのもまた趣がある  
桜の木花が散ってく上見れば  
桜の景色広がってゆく  
春の風今年も聞こえた春の声  
たくさんの梅でうめつくされる  
うめのはなそのはなかさほつつくしく  
かれてしまつのがさみしくおもう  
梅の花幸せ色の桃色が  
明かりにさしてかがやいている  
森の里誇る伝統梅見会  
こんな時こそ団らん必須  
森の里イチョウ並木に咲きほこる  
きれいな黄色秋のおとずれ  
テスト後はテスト前よりいそがしい  
ゲームに漫画テレビも見たい  
その姿咲きほこる花鮮やかに  
風吹く中で前向き咲う  
春の風いつもおどって楽しそう  
桜や梅のダンスパーティ  
梅の花色鮮やかに咲きほこる  
春をいろどる美しき姫  
春のかげはなびらをまわって強くふく  
そのこうけいは美しい風  
梅の花薄紅色が咲きほこる  
風にふかれて春の予感だ  
秋が過ぎあつという間に冬が来る  
かさかさの手と保湿クリーム  
そよそよと風に揺られる梅の花  
花びら舞って町彩やかに  
日の高い春の眺めの梅の花  
はかないものこそ輝ける時

あたたかい太陽のもと咲いている  
小さく強いいのちのちから  
梅色の花咲き笑顔空の下  
舞い散る桜香の演出  
君をみた放課後の空ただ赤い  
君と見たからちよつと特別  
山々の木々を見ると枝ばかり  
心寂しい冬の風景  
最近では凍えるほどに寒くなり  
服温かく懐は寒く  
寒い朝窓からさし入る日の光  
本と猫いりや出られやしない  
桜咲く梅も花咲き美しい  
真つ赤に染まる私たちの道  
桜咲き春になったとつづやいた  
かつて遊んだあの公園で  
梅の花うつくしゆうてやすらぎを  
皆と分ければ思い出になる  
春の日を照らす毎日梅の花  
僕の心も華やかにする  
春風に包まれ咲いた桜の花  
月が照らす美しき春  
コンタクト手から落ちて消えていく  
風で転がり池へとダイブ



### 俳句 小学生の部

とつちやんとつめののにおいとロマンスカ  
日かのぼり梅林輝き美しゆう  
東風ふくや風光明媚梅ゆれし  
ホーホケキヨ聞こえてるのに見えないな  
梅林は春に咲き出す梅の花  
春の風冬の終わりを今つげる  
梅林鳥たちがきてにぎやかだ  
花吹雪視界は全てに桃色に  
四季の路春の花が咲きほこる  
梅ひらき心もひらくこの季節  
梅咲いた見上げる頬にも花咲いた  
もうすぐだつぼみひらくと春くるぞ  
桜さく春感じる新学期  
うぐいすがホーホケキヨと春しめす  
雪つもりまだまだ咲くよ春の花  
風がゆれ紅白が歌い羽がまう  
梅の木に花がさいて春が来る  
さむいなかひろひろとまううめのはな  
早春の香りただよう梅林  
梅の木に春を知らせにうぐいすが  
枯れ木から春訪れて鮮やかに  
生き生きと赤く染まってきれいだよ  
年老いた木の幹ポロイ梅キレイ  
こたつじまいごめんね猫よまた来年  
春がくるさくらのおいにおわせて  
そろそろだ梅のつぼみがふくらむぞ  
梅林きれいな梅とどけよう  
青い空色鮮やかな梅花だ  
梅が咲く春の訪れ告げてゆく  
春休み予定がなければ梅林に  
春になり新しい芽が咲きほこる  
梅の花散りゆく姿悠然と  
春になり桜のまいがきれいだな  
梅の花鳥のさえずり春がくる

